



学校法人 朴沢学園

明成高等学校

介護福祉科通信 NO. 4

介護福祉科（介護福祉士養成コース・介護員養成コース）

平成30年10月18日発行

〒981-8570

仙台市青葉区川平二丁目26-1

TEL 022-278-6131～5

FAX 022-277-5130

<http://www.hgm.ed.jp/>

真剣な学びが未来を切り拓く ～ 勉強もチームプレー、クラス全員でがんばろう！～



明成高校の生徒の皆さんに贈る

校長 佐々木稲生

今の 今の
このたゆまぬ努力こそが
自らの道を切り拓く
臆することなく
迷うことなく
ただひたすら
勉強に励めよ
目標を見失わない者だけが
栄光を手にする
そして
夢を追い続ける限り
明成高校の皆さんの未来は燦然と輝く

←左写真：真剣な表情

就職試験出陣式 ～ 3年生が就職試験や大学入試で健闘中 ～



9月14日（金）、16日から始まる就職試験に向けて、生徒を激励する会が開催されました。

介護福祉科の生徒も多数参加し、校長先生からの激励のことばに耳を傾け、工藤先生のエールに励まされ、それ

ぞれの目標の実現に向けて思いを新たにしました。

最後に、生徒を代表し調理科3年の松田知華さんが決意を述べました。なお、介護福祉科では今日現在、就職試験や大学等の入学試験で、朗報が続々寄せられています。

テレノイド体験研修会 ～ テレノイドを手に、みんなが笑顔に ～



10月12日(金)3～4校時に、介護福祉科の生徒を対象とした「テレノイド体験研修会」を開催しました。講師として株式会社テレノイドケアの代表取締役(CEO)の宮崎詩子先生をお招きしました。

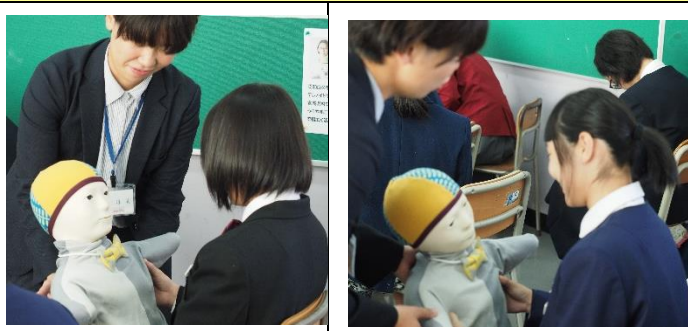
テレノイドは、人型ロボットで、体重2.7kg、身長50cmで赤ちゃんを思わせるような形をしており、遠隔操作で、コミュニケーションを取ることができます。

生徒たちは、テレノイドとのおしゃべりやだっこなどを通じて、介護の場面でのコミュニケーションの大切さを学びました。

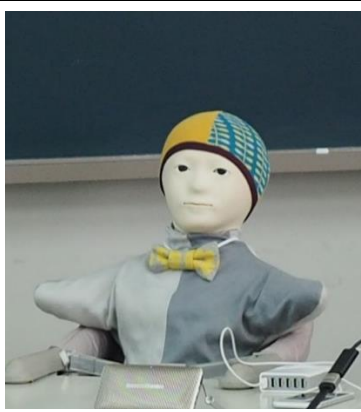
秋のオープンスクール ～ 最新の福祉機器「テレノイド」を紹介 ～

10月13日(土)に秋のオープンスクールを開催しました。

介護福祉科には、中学生26名と保護者14名が参加しました。挨拶と説明の後、2年生が自作のPCゲームを使って福祉の魅力を発表しました。続いて、テレノイドについて、宮崎詩子先生による紹介があり、最後には、2グループに分かれて、テレノイドと医療的ケアを体験しました。 右写真:テレノイドを手に笑顔がこぼれました。→



未来の介護福祉に向けて ～ 新しい学習指導要領にロボット等が位置づけられました ～



2022年度から本格実施される新しい学習指導要領の中で「介護福祉基礎」では「福祉用具と介護ロボットの意義や活用について扱うこと。」とあり、さらに「福祉要具や介護ロボットの活用がサービス利用者の生活を豊かにすることについても扱うこと。」とあります。これからの福祉の世界には、介護職員の負担軽減のためのロボットやサービス利用者の生活をさらに豊かにするためのロボットなど様々な機器が導入されると思われます。このようなことから、明成高校では、全国の高校で初めて、テレノイドの体験研修会を行いました。

仙台大学 2018 東北こども博 ～ ボランティアとしてたくさんの生徒が協力 ～

10月6日(土)と7日(日)の両日、仙台大学で「近づく2020、東京5つの輪」をスローガンに「2018 東北こども博」が開催され、家族連れで賑わいました。

仙台大学の姉妹校である明成高校からはボランティアとして大勢の生徒が協力し、総合案内やToy Hobby広場などで、来場した子どもたちの世話をしました。第2体育館で行われた「Toy Hobby広場」では子どもたちが、最新のおもちゃを体験したり、手作りホビーで楽しそうに遊ぶ姿が見られました。

